

令和 8 年 6 月 3 日 通告

(一般質問)

質問日	令和 8 年 6 月 1 2 日 (金)		質問方式	分割方式			
質問順位	1	会派名	公明党	議席番号	3 7	氏名	黒田 豊
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 物価高騰による 中小企業等への影 響調と支援策につ いて (1) 影響調につい て (2) 既存の補助制 度や融資制度に ついて (3) 適正な価格転 嫁について (4) 雇用への影響 について (5) 中長期的視点 について	<p>(1) エネルギー価格・原材料費の高騰が市内中小企業の収益や倒産リスクに与えている影響について、どのような情報に基づき把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 「使われているかどうか」ではなく、「実際に経営改善につながっているか」という観点で検証が必要。利用件数、採択率、利用企業の業績変化など、効果検証はどこまで行っているのか。仮に十分な効果が確認できていないのであれば、支援の規模・対象・スピードのいずれにも課題があると考えますが、その認識はあるのか伺う。</p> <p>(3) 国も「適正な価格転嫁」を掲げているが、現場では発注側との力関係により、依然として困難な状況が続いている。ここは、単なる相談窓口にとどまらず、発注企業側への働きかけや業界単位での是正など、より実効性のある取り組みが必要ではないか。考えを伺う。</p> <p>(4) コスト増を吸収できない企業は、人件費の抑制に向かわざるを得ない。そのしわ寄せは、非正規雇用の割合が高い女性や、キャリア初期段階にある若者に集中する傾向がある。物価高騰が女性・若者の雇用環境に与えている影響をどのように把握しているのか。また、それに対する具体的対策はあるのか伺う。</p> <p>(5) 本市として、GX・DXを含めた企業の競争力強化に向けた取り組みについて伺う。</p>					中野市長  北嶋産業部長  "  "  中野市長	
2 中心市街地の課 題解決による再整 備について (1) 中心市街地の 核となる施設の 誘導について (2) 容積率緩和制 度の運用方針に ついて	<p>本市の中心市街地再生には解決すべき課題が山積している。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) まちづくり方針や計画の策定にあたっては、現在検討を進めている美術館の移転、徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設の新設に加え、市役所本庁舎などを含めた公共施設の再配置も検討を図り、中心市街地の核となる施設を誘導することで民間投資を誘発し、都心の再生を図るべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 「土地利用方針」では『公共貢献に応じた容積率緩和制度の運用方針を定め、地域特性に応じて敷地集約化・大街区の促進、良好な都市空間の創出、都市機能等を備えた良好な民間都市開発の誘導などが図られるような</p>					中野市長  濱田都市整備 部長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(3) まちづくり方針と都市再生整備計画の策定について</p> <p>(4) 都市再生推進法人について</p> <p>3 中心市街地における松菱跡地など市街地再開発事業について</p> <p>(1) 課題認識と課題解決に向けた取り組みについて</p> <p>(2) 松菱跡地の市街地再開発事業を含む再生について</p> <p>(3) サザンクロス地区から河合楽器通りにかけての再整備について</p> <p>(4) 具体的なロードマップについて</p>	<p>制度運用を進める』としているが、「公共貢献に応じた容積率緩和制度の運用方針」も明らかにする必要があると考えるが伺う。</p> <p>(3) 本年度、駅南地区については、まちづくり方針が策定される予定だが、中心市街地全体の方針が必要と考えるが伺う。また、まちなかウォークアブル区域を指定するために中心市街地を対象とした「都市再生整備計画」を策定し、ウォークアブルな都心づくりを進める必要があると考えるが伺う。</p> <p>(4) 国土交通省は民間主導の都市再生推進法人制度を立ち上げているが、本市には指定法人はない。そこで、対象団体に対し市が支援する形で指定に向け取り組むべきと考えるが現状と課題について伺う。</p> <p>(1) 中心市街地における市街地再開発事業の現状について、どのような課題認識を持っているか。また、課題解決に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 松菱跡地の市街地再開発事業を含む再生について、どのような事業内容であり、いつまでに方向性を示せるか伺う。</p> <p>(3) サザンクロス地区から河合楽器通りにかけての再整備は、単なる修繕ではなく、若い世代や観光客も含めて「歩きたくなる通り」ウォークアブルストリートに変えることが望ましい。歩道空間の拡充や滞留スペースの整備、夜間景観の向上など、具体的なデザインの方向性を持って進めるべきと考えるが伺う。</p> <p>(4) 市としてこのエリアの再開発を「いつまでに」「どのような体制で」「どのような手法により」進めていくのか、具体的なロードマップを示すべき段階に来ているのではないか、考えを伺う。</p>	<p>濱田都市整備部長</p> <p>〃</p> <p>濱田都市整備部長</p>
<p>4 若者・女性に選ばれる浜松について</p> <p>(1) 全体戦略について</p>	<p>(1) 「若者や女性に選ばれるまち浜松」を今後の市政運営においてどのように位置づけているのか。今般、教育・若者連携推進担当課長が配置されたが、その設置目的を含めてどのようなまちを目指すのか伺う。</p>	<p>中野市長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(2) 若者向けの「住まい」について</p> <p>(3) 就労環境づくりについて</p> <p>(4) 女性に選ばれるまちづくりの強化について</p> <p>(5) 子育て環境等の整備について</p>	<p>(2) 若年層の労働者や、結婚・出産・子育てに直面する若い世帯が浜松に定住するためには、若者向けの住まいに関する施策が必要だと考えるが、若者向けの賃貸住宅や市営住宅の整備、あるいは民間事業者との連携など、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 若者や女性が本市で働き続けたいと思えるよう、地元企業との連携、柔軟な働き方の推進、起業支援などについて、現状をどのように認識し、今後、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(4) 「女性に選ばれるまちプロジェクト」のこれまでの取り組みと、今後、さらに女性の声や視点をどのように生かし、取り組みを強化していくのか。また、他部署との連携をどのように進めていくのか伺う。</p> <p>(5) 若者に選ばれるまちを目指していくには、子育て支援の環境を整え、若者が安心して子育てができ、将来にわたって住み続けたいと思うことができる施策を実施していかなければならない。若者世代の声を反映した「子育てしやすいまち浜松」の施策をどのように展開していく必要があると考えているのか伺う。</p>	<p>工藤企画調整部長</p> <p>北嶋産業部長</p> <p>水谷市民部長</p> <p>野田こども家庭部長</p>
<p>5 市長が考える道の駅について</p> <p>(1) 市長の重視する目的と目的実現について</p> <p>(2) 防災機能について</p> <p>(3) アクセスについて</p>	<p>(1) 計画中の道の駅整備に、市長が重視する目的と、その目的実現に向けた具体的取り組みは何か伺う。</p> <p>(2) 沿岸域に整備する以上、この道の駅が災害時にどう機能するのかが極めて重要。道の駅を防災拠点として、どの機能まで担わせる方針なのか。あわせて、関係機関との役割分担について伺う。</p> <p>(3) 遠州灘海浜公園（篠原地区）及び周辺地域では、この道の駅のほか、野球場や武道館など様々な開発が予定されているため、この地域と浜松駅、高塚駅、舞阪駅をつなぐ複数のバス路線を新設すれば利便性が高まり、施設利用率の向上にもつながるのではないかと考えるが、その実現性について伺う。</p>	<p>中野市長</p> <p>〃</p> <p>濱田都市整備部長</p>